

災害支援ナース育成研修プログラム

【目的】

本プログラムは災害支援ナースが活動するにあたって習得しておくべき知識や能力を記載したものである。

【経緯】

「災害支援ナース派遣要領」の中で、日本看護協会は災害支援ナース育成に必要な教育内容の検討を行い、より効果的な災害看護活動を実現することを役割としている。

これまでに日本看護協会は、都道府県看護協会や施設等が実施する災害看護研修のモデルプランの一つとして「災害看護研修シラバス（基礎編・災害支援ナース実務編）」（2005）を提案し、さらに、災害支援ナースの実践力向上を目的とした「災害支援ナースのための研修シラバス」（2010）を公表した。

その後、2011年の東日本大震災発災以降、災害医療や看護に関する様々な知見が新たに積み重ねられるとともに、災害支援ナースの育成においても、より重点を置いて教育すべき内容が示唆されている。また、多くの都道府県看護協会において災害支援ナースの実践力向上を目的とした研修が実施されており、企画・運営にあたって本会からプログラムの例示を求める声も多い。

以上を踏まえ、災害支援ナースの育成に必要な研修内容を整理し、ここに提示するものである。

【活用方法】

本プログラムは標準的な内容を示している。各都道府県で発生が予測される自然災害や地理的特性に応じて、本プログラムに記載されていない項目を研修内容に加える等の活用をすることが望ましい。さらに、その場合には以下に記す本プログラムの目的・目標を考慮した上で研修計画を立案することが望ましい。

【本プログラムの構成と目的・目標】

本プログラムは、災害看護および災害支援ナースの活動に関する知識の習得を目的とした Part 1 と、実践力を高めることを目的とした Part 2、指導者育成を目的とした「企画・指導者研修」の3つから構成される。

災害支援ナースの登録と研修受講との関連については、Part 1「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識」の受講が本会の派遣調整によって活動する災害支援ナース登録の要件であり、Part 2「●●県看護協会災害支援ナース育成研修」は登録にあたって受講していることが望ましい研修とする。

Part 1. 「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～」(主として知識を習得する)

- 目的
1. 看護専門職の災害時支援者として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する。
 2. 災害支援ナースの役割と活動の実際を理解する。

- 目標
1. 災害の種類や特徴および、過去の災害医療の教訓と我が国における災害時の医療体制の概要がわかる。
 2. 災害サイクルの各期に必要な様々な場での災害看護の知識を習得する。
 3. 災害時に特徴的な健康被害・疾病の病態と看護の概要がわかる。
 4. 災害下での被災者および支援者のストレス反応の特徴を知り、そのケアや対処がわか

- る。
5. 災害時の支援者としての心構えや倫理的配慮、安全に活動するための留意事項がわかる。
 6. 災害支援ナースの役割、機能、派遣の仕組みがわかる。
 7. 災害支援ナースとして活動するための平時の準備ができる。
 8. 災害支援ナースの活動の実際を想定することができる。

Part 2. 「●●県看護協会災害支援ナース育成研修」(主として実践力を高める)

- 目的
1. 看護専門職の災害時支援者として、被災地や被災者に対して有効に機能する。
 2. 災害支援ナースとして他者と協働でき、自律した活動ができる。
- 目標
1. 災害支援ナースの活動の実際を想定することができる。
 2. 災害支援ナースとして活動する際の基本的な心構えがわかる。
 3. 災害支援ナースの活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる。

「災害支援ナース育成研修」企画・指導者研修

- 目的
1. Part2. 「●●県災害支援ナース育成研修」の企画、実施および評価ができる。
- 目標
1. Part2. 「●●県災害支援ナース育成研修」の目的、構成を説明できる。
 2. 災害看護に必要なリーダーシップについて説明できる。
 3. 災害時の職種間連携、他職種連携の重要性について説明できる。
 4. 机上シミュレーションの目的を説明でき、机上シミュレーションを運営できる。
 5. Part2. 「●●県災害支援ナース育成研修」受講者に災害支援ナースの活動の実際と活動の留意点を説明できる。
 6. 机上シミュレーションのファシリテーターの役割が説明できる。
 7. Part2. 「●●県災害支援ナース育成研修」の評価の意義について説明できる。

Part1. 「災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～」

研修目的

1. 看護専門職の災害時支援者として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する。
2. 災害支援ナースの役割と活動の実際を理解する。

研修目標

1. 災害の種類や特徴および、過去の災害医療の教訓と我が国における災害時の医療体制の概要がわかる。
2. 災害サイクルの各期に必要な様々な場での災害看護の知識を習得する。
3. 災害時に特徴的な健康被害・疾病の病態と看護の概要がわかる。
4. 災害下での被災者および支援者のストレス反応の特徴を知り、そのケアや対処がわかる。
5. 災害時の支援者としての心構えや倫理的配慮、安全に活動するための留意事項がわかる。
6. 災害支援ナースの役割、機能、派遣の仕組みがわかる。
7. 災害支援ナースとして活動するための平時の準備ができる。
8. 災害支援ナースの活動の実際を想定することができる。

受講対象者

災害支援ナースを目指す者、または関心がある者

※災害支援ナースとして登録予定のない看護職も受講可

研修時間

12 時間（2 日間）

研修方法

オンデマンド研修

主催

公益社団法人日本看護協会、都道府県看護協会

研修プログラム (Part 1)

プログラム所要時間 720 分 (12 時間)

単元	形態	内容	時間	対応する研修目標
災害医療の基礎知識	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・災害とは (災害の種類、環境被害・人為災害等含む) ・我が国の災害医療体制 (阪神・淡路大震災からの経緯含む) 	180 分	1. 災害の種類や特徴および、過去の災害医療の教訓と我が国における災害時の医療体制の概要がわかる。
災害時に求められる看護支援活動	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・災害看護とは ・ICN の災害看護のコンピテンシー ・災害サイクルに沿った看護支援活動 ・災害の場に応じた看護支援活動 ・災害時要援護者の特徴と看護 	120 分	2. 災害サイクルの各期に必要な様々な場での災害看護の知識を習得する。
災害時に特徴的な健康被害と看護支援活動	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・災害各期に発生しやすい健康被害・疾病と病態 ・災害時に健康被害・疾病を最小にするための看護の役割 	60 分	3. 災害時に特徴的な健康被害・疾病の病態と看護の概要がわかる。
災害時の心理的変化とこころのケア	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者の心理的変化 ・被災者に生じやすい心理的問題 ・被災者に接する際の基本的留意点 ・我が国の災害精神医療体制 ・支援者の惨事ストレスとケア 	90 分	4. 災害下での被災者および支援者のストレス反応の特徴を知り、そのケアや対処がわかる。
看護協会の災害時看護支援活動	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会と都道府県看護協会の災害時看護支援活動 ・災害支援ナースの役割、登録要件と条件 ・災害支援ナース派遣の仕組み、活動期間と場所 ・災害時看護支援活動を行う者に求められる心構え 	60 分	5. 災害時の支援者としての心構えや倫理的配慮、安全に活動するための留意事項がわかる。 6. 災害支援ナースの役割、機能、派遣の仕組みがわかる。
災害時の他職種との役割と連携	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・災害支援ナースが避難所で活動する場合に連携が必要な職種・チームの種類 ・支援者間の連携と指揮命令系統 	90 分	7. 災害支援ナースとして活動するための平時の準備ができる。
災害支援ナースの活動の実際	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・災害支援ナースとして派遣された看護職の活動の実際 (登録～災害発生～派遣～活動後等含む) ・活動場所で直面する様々な状況 ・会場との Q&A 	120 分	8. 災害支援ナースの活動の実際を想定することができる。

Part2. 「●●県看護協会災害支援ナース育成研修」

研修目的

1. 看護専門職の災害時支援者として、被災地や被災者に対して有効に機能する。
2. 災害支援ナースとして他者と協働でき、自律した活動ができる。

研修目標

1. 災害支援ナースの活動の実際を想定することができる。
2. 災害支援ナースとして活動する際の基本的な心構えがわかる。
3. 災害支援ナースの活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる。

受講対象者

Part1.の研修を修了し、災害支援ナースを目指す者

研修時間

6時間（1日間）

研修方法

集合研修

主催

都道府県看護協会

日本看護協会は「『災害支援ナース育成研修』企画・指導者研修」を開催し、講師・ファシリテーターを担える人材を育成し、本研修を支援する。（『災害支援ナース育成研修』企画・指導者研修」のプログラムは後に記載）

演習の進め方

- ・災害時支援の場面を設定し、受講者が災害支援ナースの活動をシミュレーションする。
- ・シナリオに書かれた状況で災害支援ナースとしてどう行動するかを考えや判断を問う。
- ・演習はグループ学習とし、受講者が自己に気づき、自己の意見を醸成させるようにする。
- ・演習は、状況付与→グループ学習→代表グループの発表（2、3グループ）→講師（演習統括者）による解説、という手順で進める。

研修プログラム (Part 2)

プログラム所要時間 360 分 (6 時間)

単元	形態	内容	時間	対応する 研修目標
●●県看護協会 における災害時 看護支援活動	講義	<ul style="list-style-type: none"> ●●●県の災害医療体制 ●●●県看護協会における災害支援ナースの登録および役割・過去の活動 	60 分	1. 災害支援ナースの活動の実際を想定することができる。
災害支援ナース の派遣の概要	講義	<ul style="list-style-type: none"> 災害支援ナース派遣の基本的な考え方 活動時期と派遣期間、活動場所 災害支援ナースの派遣の手順 災害支援ナース派遣のしくみ 	20 分	1. 災害支援ナースの活動の実際を想定することができる。
災害支援ナース の活動の実際	演習	<p>≪演習の構成例≫</p> <p>災害支援ナースの派遣の手順</p> <p>アイスブレイキング</p> <p>(状況付与 1 災害発生)</p> <p>Q1 派遣決定までの調整と準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 出発前の情報収集と情報入手の手段 <p>Q2 派遣決定から出発までの準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 出発前の調整 出発前の確認事項 <p>Q3 携行品</p> <ul style="list-style-type: none"> 携行する物品の考え方 <p>(状況付与 2 派遣決定)</p> <p>講義 支援者としての心構え</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災者の尊厳 基本的な心構え 被災者の心理的反応の時間経過 支援する側の心理 <p>Q4 メンバーと活動の目的を共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> チームを形成する目的と方法 リーダーの役割、メンバーの役割 <p>講義 活動場所の違いによる活動の特徴</p> <p>a. 医療機関での活動の特徴</p> <p>b. 避難所での活動の特徴</p> <p>避難所とは</p> <p>避難所の運営体制</p> <p>福祉避難所とは</p> <p>避難所で提供する生活支援の主な内容</p>	280 分	<p>1. 災害支援ナースの活動の実際を想定することができる。</p> <p>2. 災害支援ナースとして活動する際の基本的な心構えがわかる。</p> <p>3. 災害支援ナースの活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる。</p>

	<p style="text-align: center;">避難所での活動の特徴</p> <p>(状況付与 3 活動場所へ到着)</p> <p>講義 C S C A (T T T)</p> <p>Q5 活動の原則</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指揮命令系統を確認する ・活動内容の確認と調整を行う <p>Q6 安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次災害の回避 ・自身の安全を守る <p>Q7 他職種、他機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応にかかわる職種、機関 ・災害対応にかかわる職種、機関の特徴 ・連携時の留意点 <p>Q8 自分たちの活動の方針を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状把握と支援ニーズの再確認 ・アセスメントに含めること ・自立への支援とは <p>(状況付与 4 活動中に新たな支援を依頼される)</p> <p>Q9 新たな活動を依頼されたら</p> <p>Q10 取材を申し込まれたら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスコミ報道の特徴 ・マスコミ対応の方法 <p>Q11 支援者のストレス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援者にかかるストレス ・ストレスへの対処 <p>Q12 記録と報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告 ・活動の記録とその目的 ・記録をする際の注意点 <p>(状況付与 6 支援ニーズが減少し、活動を終了するという情報が入る)</p> <p>Q13 活動終了に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援ニーズの再評価の視点 ・情報と物品の整理、アナウンス <p>Q14 帰還後に行うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害支援ナース自身の回復のために ・派遣に協力してくれた人への感謝 ・活動の報告、活動内容の伝達 <p>まとめ</p>	
--	---	--

「災害支援ナース育成研修」企画・指導者研修

研修目的

Part2. 「●●県災害支援ナース育成研修」の企画、実施および評価ができる。

研修目標

1. Part2. 「●●県災害支援ナース育成研修」の目的、構成を説明できる。
2. 災害看護に必要なリーダーシップについて説明できる。
3. 災害時の職種間連携、他職種連携の重要性について説明できる。
4. 机上シミュレーションの目的を説明でき、机上シミュレーションを運営できる。
5. Part2. 「●●県災害支援ナース育成研修」受講者に災害支援ナースの活動の実際と活動の留意点を説明できる。
6. 机上シミュレーションのファシリテーターの役割が説明できる。
7. Part2. 「●●県災害支援ナース育成研修」の評価の意義について説明できる。

開催年

H28 年度から 2 年に 1 回の頻度で開催

研修日数

2 日間（12 時間）

研修場所

神戸研修センター

受講対象者

- ・災害支援ナースに登録している者
- ・都道府県看護協会から推薦を受け、Part2. 「●●県災害支援ナース育成研修」の指導者を目指す者

※法人会員対象研修と位置づける。

募集人数

各都道府県 1～2 名 最大 94 名

講師体制

講義は講師 1 名ずつ

演習は講師 1 名と演習支援者 8 名

研修方法

集合研修

使用教材

下記の研修内容にある小項目を含んだ内容で、担当講師が教材を作成する。

必要物品

PC、プロジェクター、移動可能な机、椅子、マイクとスピーカー、資料ハンドアウト、修了証

事前課題

受講者の参加意識を高める目的で実施する。1600字程度のレポートを提出。

事前に受講者から得る情報（演習のグループ分けや研修評価に使用）

- ① 年齢、所属施設、所属部署、看護師経験年数、役職
- ② 都道府県看護協会で災害看護委員となっているか
- ③ これまでに受講した災害看護研修（タイトルと主催者のみ）
- ④ 被災地に派遣された経験、または被災地でボランティアの経験があるか
- ⑤ 認定看護師、専門看護師の資格を取得しているか。取得している場合は分野について

評価の時期と方法

開催毎に評価を実施

研修プログラム

690分 (11.5時間)

単元	形態	内容	時間	対応する研修目標
机上シミュレーション実施のために必要な知識 ①災害支援ナースの育成	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・災害支援ナースとは ・災害支援ナース派遣について ・災害支援ナース育成と災害看護研修開催の必要性 ・災害支援ナースに必要とされる知識・態度とは 	60分	1.Part2.「●●県災害支援ナース育成研修」の目的、構成を説明できる。
机上シミュレーション実施のために必要な知識 ②リーダーシップ	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップとは ・リーダーシップとマネジメント ・リーダーの基本要件 ・フォロワーシップ論（またはメンバーシップ）とは ・災害看護に必要なリーダーシップ（安全管理、現地での調整、メンバーが受けるストレスへの配慮） 	60分	2.災害看護に必要なリーダーシップについて説明できる。
机上シミュレーション実施のために必要な知識 ③職種間連携、他職種連携	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・災害サイクルの各期における職種間連携、他職種連携 ・他職種の専門性または役割、特性 ・連携までのプロセス（情報収集と現状の整理、 	60分	3. 災害時の職種間連携・他職種連携の重要性について説明できる。
災害支援ナースの活動の実際	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・セッションの目的と方法の説明 ・自己紹介（アイスブレイク） ・演習の内容と方法の説明 ①派遣決定までの調整と準備 ②派遣決定から出発までの準備 ③携行品 講義 支援者としての心構え ④メンバーと活動の目的を共有する 講義 活動場所の違いによる活動の特徴 <ul style="list-style-type: none"> a. 医療機関での活動の特徴 b. 避難所での活動の特徴 講義 CSCA(TTT) ⑤活動の原則 ⑥安全管理 ⑦他職種、他機関との連携 ⑧自分たちの活動方針を立てる ⑨新たな活動を依頼されたら ⑩取材を申し込まれたら 	420分 (休憩含む)	4. 机上シミュレーションの目的を説明でき、机上シミュレーションを運営できる。 5.Part2.「●●県災害支援ナース育成研修」受講者に災害支援ナースの活動の実際と活動の留意点を説明できる。

		①支援者のストレス ②記録と報告 ③活動終了に向けて ④帰還後に行うこと		
研修開催に必要な知識 学習計画の立案	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・成人の学習の特徴 ・学習者のニーズ、レディネスの把握 ・研修の目標設定・企画・評価の方法 ・学習指導案作成の例 ・研修の中でグループ学習を効果的に活用する方法 ・ファシリテーターの役割 	90分	6. 机上シミュレーションのファシリテーターの役割が説明できる。 7.Part2.「●●県災害支援ナース育成研修」の評価の意義について説明できる。